

令和7年度 日野南地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

総括表	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 地域では様々な活動やイベントが再開され始めましたが、地域によっては縮小傾向や再開が難しい活動もあります。また、地域活動を担ってきた方たちの高齢化や担い手の後継者確保が課題でもあります。地域活動の支援を進め、ケアプラザの事業を通して外出の機会やつながりの場を発進していきたい。エリア内での高齢化に伴い、ニーズも多様化してきています。介護保険サービスだけでは難しくなっているため、既存の活動や集いの場が継続して活動していけるよう情報収集し、地域との連携を深めインフォーマルサービスの支援に活かしていく事が重要です。また、空き家問題の増加も予想され、さらなる地域アセスメントが必要になっています。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
—具体的な取組内容—	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り 多様化する様々な問題、8050問題をはじめ虐待、地域特性や地域課題を区役所、区社協と情報共有・連携に努めた。チームオレンジの認知症カフェは参加人数は多くはないが、ボランティアの協力も得て毎月開催している。認知症サポーター養成講座では今年度も小学校・中学校で開催することができ、中学校での養成講座はオレンジ大使を招いて開催することができた。「めくめくマフの会」を自主事業で開催し、参加いただいた方の個性豊かな手作りマップは事業所にお届けすることが出来た。今年度より新たな協力医に変わり、ケア会議への参加や事業の講師、医療相談等、新たな関係づくりを進めることができた。エリア内のマンション建物によっては高齢化(独居)が進んでいる。マンション住民を対象としてケアプラザの周知を行い、身近な相談機関・役割を知っていただくことができた。また協力医による訪問診療や高齢者を取り巻く環境の講話があり興味を持っていただく事ができ、今後も企画していく予定である。行政書士による個別相談会も2ヶ月に一度開催し、相談できる機会を設けている。地域のサロンへは毎回参加させていただいているが、サロンの勉強会でフレイルや施設等の出張講座を行い、施設見学会も実施することができた。多くの方に事業の案内を知っていただくため、自治会町内会の掲示板にチラシを掲示していただいているが、地域の掲示板には限りがあるため、QRコードを活用しホームページでの閲覧が出来るようにした。LINEによるお知らせも広報誌の他、自主事業の案内も発信して多くの方に知ってもらうよう取り組んだ。今年度は地域福祉保健計画の振り返りと策定の年度でもあった。策定にあたり日野地区では地域づくり連絡会に連合未加入団体も参加くださるようになり活発なご意見が聞けるようになった。日野南地区では様々な活動が行われており、活動内容を計画に盛り込んだ地域福祉保健計画が出来、支援チームとして支援することができた。	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント 日頃から積極的に地域へ出向いて住民の声を聞いたり、活動団体やボランティアの交流会を行うなど、人と人をつなぐ大切な役割を担っていただきました。また、今年度は「第5期港南ひまわりプラン(地区別計画)」の策定において、連合未加入のところへも声をかけて会議への参加を促すなど、ご尽力いただきありがとうございました。認知症事業への積極的な取り組みと、世代を超えた啓発活動には、心強さを感じています。とりわけ認知症カフェでの参加者への適切な声かけや当事者・地域住民の参加促進、さらにボランティアの発掘に積極的に取り組んでいただいております。また、権利擁護については、地域特性から行政書士の個別相談や消費者被害への対応は必要性が高いため、来年度も継続して普及啓発を進めてほしいと考えます。ケアマネジャーへの支援については、民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係づくりや情報共有の促進に取り組んでおり、民生ケアマネ懇談会でも地域課題を的確にテーマ化し、住民と支援者の交流が深まる良い機会となっているため、今後も是非継続してほしいと考えております。介護予防ケアマネジメントについては、要支援者のケアプラン作成を委託先ケアマネへ丁寧にサポートしており、適切なプラン提供に貢献しています。企業連携による多様な講座は若い世代の関心にもつながっており、今後も地域ニーズに応じた予防・悪化防止の啓発を期待しています。協力医との日頃からの密な連携のおかげで、地域ケア会議でも医師を含めた活発で有意義な意見交換ができています。高齢の親と障害のある子の世帯からの相談が増えている現状を踏まえ、単発の会議で終わらず継続的に対応できる仕組みを区としても共に考えていきたいと思っています。	